

八戸圏域水道企業団

〒039-1112 青森県八戸市南白山台一丁目11-1
電話 0178-70-7000 FAX 0178-70-7070



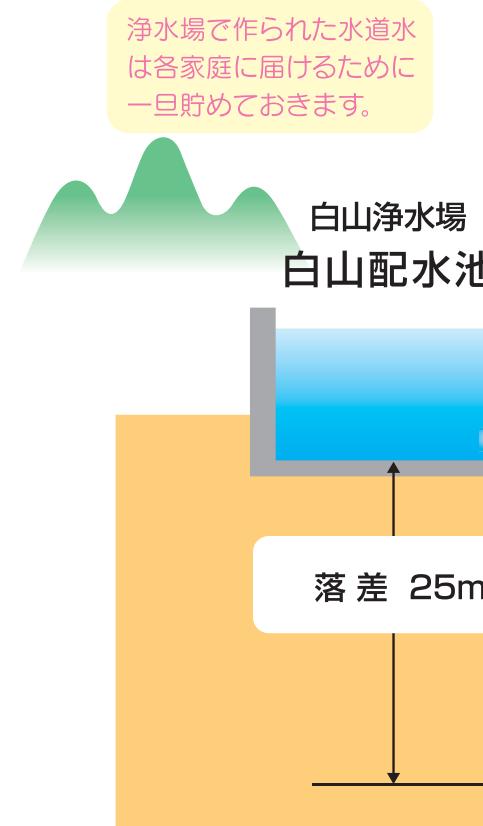
水道施設を利用した小水力発電について

八戸圏域水道企業団では、配水池間の高低差を利用した小水力発電設備を根城配水池に整備しました。これにより、環境への負荷が少ない「小水力発電」が可能となり、温室効果ガスであるCO₂の排出量削減が期待できます。

根城配水池は、白山浄水場からの送水を受け、根城地区や中心市街地などへ給水しています。小水力発電とは、これまで活用されていなかった水の持つエネルギーを利用して発電するもので、根城配水池の流入管路上に建設されました。発電した電力は構内で自家消費しつつ、余剰電力は電力会社へ売電することで有効利用を図ります。

小水力発電は規模としてはあまり大きくありませんが、太陽光発電や風力発電と異なり、気象条件に左右されずに一日を通して安定した発電が可能です。八戸圏域水道企業団では、水力発電の推進に向けて調査・検討を進めてきましたが、このたび、新エネルギー導入促進協議会の補助採択によって事業の正当性が評価されたことから、本格的に小水力発電事業を行うこととしました。

CO ₂ 削減効果	
発電量	年間40万kWh (一般家庭約120世帯分の使用量)
CO ₂ 削減量	年間188トン
発電機仕様	
定格出力	75kW
使用水量	毎秒0.33m ³ (毎時1188m ³)
有効落差	25m
回転速度	毎分1000回転
発電機の種類	誘導発電機
発電機の電圧	400V 50Hz
変圧器の電圧	400V / 6,600V



水力発電機



東北最大のステンレス製配水池

根城配水池

配水管
各家庭へ

未利用エネルギー → 電力を発生
小水力発電は配水池の入口に水車発電機を設置し、水のエネルギーで水車を回転させて発電します。

自家消費

余剰電力は東北電力へ売電

発電した電力の一部は根城水道公園の照明等に利用し、その他の電力(余剰電力)は電力会社へ売電します。

小水力発電導入の背景と効果

近年の地球温暖化問題に象徴される地球的規模の環境問題

クリーンエネルギー、再生可能エネルギーの利用見直し

国の後押し(補助金制度など)

省エネルギー

●未利用エネルギー活用により省エネルギー効果があります。

環境負荷低減

●化石燃料を使用しないので、CO₂排出がありません。

電力料の削減

●水の落差で発電するため、発電コストがかかりません。

浄水処理の安定化

●CO₂削減が安定した水づくりにつながっています。

環境に対する貢献



配水池施設内の公園の照明などにも使われています。

事業計画

本事業の実施にあたっては、「地域新エネルギー等導入促進事業」を活用しました。補助対象額は二分の一であるため、全体事業費108,802千円に対し、52,462千円が交付されます。

